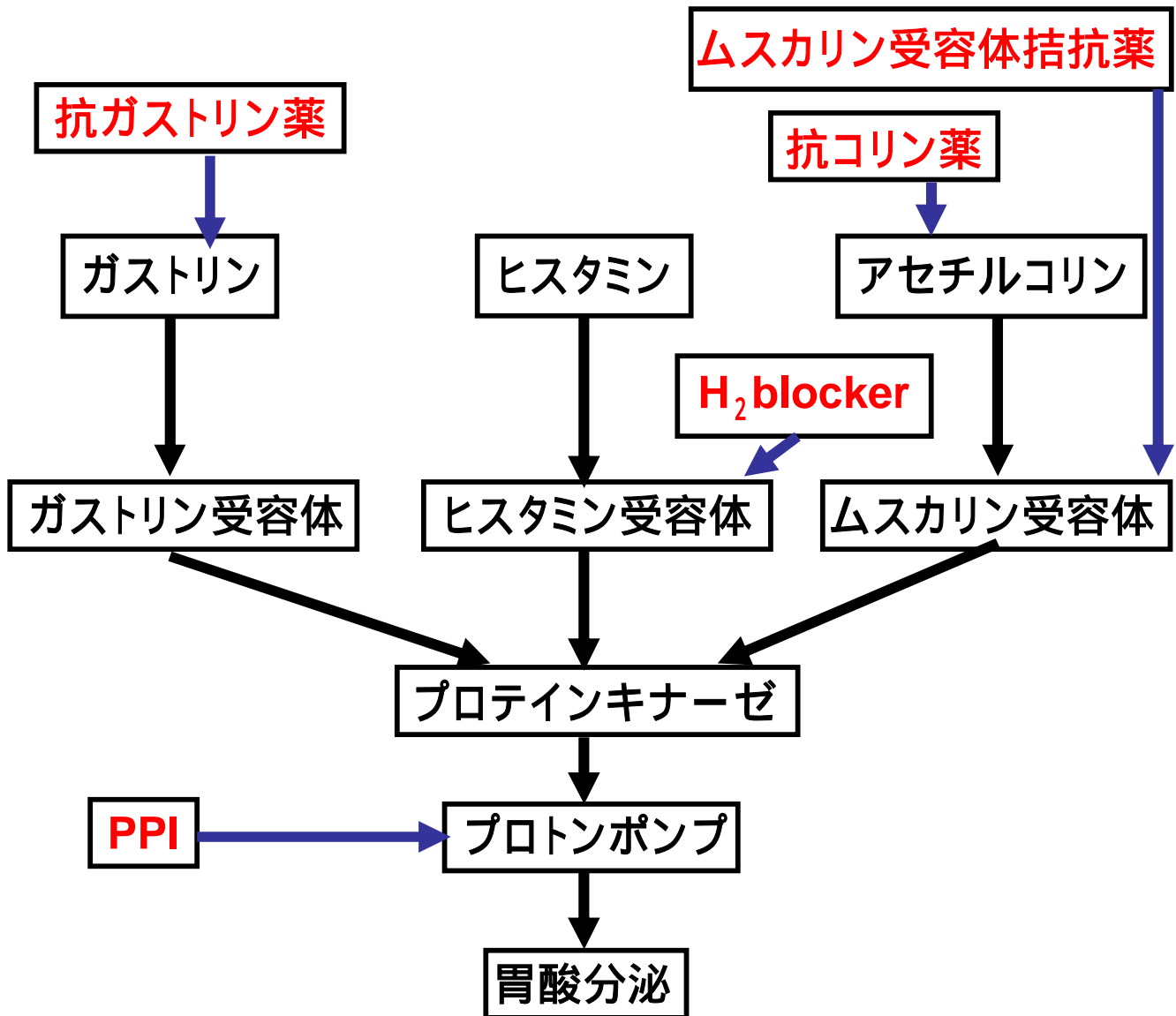


制酸薬

胃酸分泌のメカニズム



PPI : プロトンポンプ阻害薬

→ : 抑制

抗コリン薬

副交感神経の働きを抑えることによりアセチルコリンの遊離を抑制し胃酸分泌を抑制する。(前項図を参照)

前立腺肥大症、緑内障には禁忌

代表薬

ヨウ化イソプロパミド

臭化メチルベナクチジウム

ムスカリン受容体拮抗薬

選択的にムスカリン受容体を阻害し胃酸分泌を抑制する

代表薬

ピレンゼピン

抗ガストリン薬

抗ガストリン作用により胃酸分泌を抑制する

代表薬

プログルミド

セクレチン

ウロガストロン

H₂受容体拮抗薬

胃酸分泌に作用するH₂受容体を阻害することにより胃酸分泌を抑制する。

代表薬

シメチジン・・・さまざまな薬品のP450による代謝を阻害する
腫瘍抑制効果がある
骨へのカルシウム沈着を防ぐ作用がある

ファモチジン

ラニチジン

プロトンポンプ阻害剤

胃酸分泌は最終的にプロトンポンプを經由しておこなわれる。
このプロトンポンプを阻害することにより、より強力に胃酸分泌を抑制する

胃潰瘍、吻合部潰瘍では8週間、十二指腸潰瘍では6週間投与となっている

代表薬

オメプラゾール

ランソプラゾール

ラベプラゾール・・・腸溶錠であるので粉碎付加

参考資料:治療薬マニュアル2006 医学書院

処方わかる医療薬理学2004-2005 中原 保裕 Gakken

今日の治療薬2007 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 南江堂

薬理学 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 廣川書店

臨床薬物動態学 加藤 隆一 南江堂